

様式第2号（第3条関係）
（会派用）

平成30年度政務活動費交付申請書

平成31年3月14日

湯沢市長 様
（湯沢市議会議長経由）

会派の名称 湯沢市議会 湯和会
代表者氏名 代表 柏原久寿

湯沢市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則第3条第1項の規定により、次のとおり申請します。

交付申請額 499,960円

＜内 訳＞

（単位：円）

科 目	支 出 額	備 考
調 査 研 究 費	499,960	要請・陳情活動費を含む。 （うち政務活動費充当額 499,960円）
研 修 費		
広 報 費		
広 聴 費		
要請・陳情活動費		
会 議 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
人 件 費		
事 務 所 費		
事 務 費		
支 出 合 計	499,960	

参考：申請上限額

交付月額	議員数	交付対象月数	上限額
5,000円	9人	12月	540,000円

既交付額 0円



様式第3号（第3条関係）
（会派用）

政務活動費実績報告書

会派の名称 湯沢市議会 湯和会

代表者氏名 代表 柏原久寿



整理 番号	年月日	内 容	経費項目	支出額	備考
1	平成 31年 1月 24日	◆平成31年1月30日(水) 午後1時～午後3時 研修先：静岡県富士市 「富士市産業支援センター 「f-Biz」について」	調査研究費	499,960円	
	～	◆平成31年1月31日(木) 午前10時～正午 研修先：静岡県熱海市 「営業する市役所について （「A-biz」熱海市チャレンジ応 援センター）」			
	2月 1日	◆平成31年2月1日(金) 午前10時～午後2時 要望先：内閣官房長官、秋田県出 身国会議員 （衆議院・参議院議員会館） 「東北中央自動車道 新庄・湯沢 地域間の整備促進について」 ◆参加者：9人 柏原久寿、渡部正明、高橋達、 住谷達、佐藤功平、兼子正寛、 高橋健、高橋大輔、高橋榮	要請・陳情 活動費		

- ・年月日は、支出の事実のあった年月日を記載する。
- ・内容欄には、政務活動が特定できるよう、年月日、場所、活動内容などが明確になるよう記載する。

平成30年度

政 務 活 動 報 告 書

平成31年3月14日

湯沢市議会議長 佐藤 功平 様

湯沢市議会 湯和会
代表 柏原 久寿



高橋肇議員との合同視察研修について、次のとおり報告します。

研修先 要望先	1) 静岡県富士市		平成31年1月30日		
	2) 静岡県熱海市		平成31年1月31日		
	3) 内閣官房長官、秋田県出身国会議員 6名		平成31年2月1日		
政 務 活 動 内 容	月日	都市名	研修・要望等 項目	宿泊地	研修・要望先
	1月30日	静岡県富士市	【調査研究事項】 1) 富士市産業支援センター「f-Biz」について	静岡県熱海市	富士市立中央図書館分館1階
	1月31日	静岡県熱海市	【調査研究事項】 2) 営業する市役所について(「A-biz」熱海市チャレンジ応援センター)	東京都台東区	熱海市役所
	2月1日	東京都千代田区	【要請・陳情活動】 3) 東北中央自動車道 新庄・湯沢地域間の整備促進について		衆議院・参議院議員会館
成果及び活用すべき事項	別紙「視察研修・研修会・要請・陳情活動等報告書」のとおり				



視察研修・研修会・要請・陳情活動等報告書（湯和会）

【調査研究事項】

- ・年 月 日：平成 31 年 1 月 30 日（水）
- ・研 修 先：静岡県富士市
- ・研修内容：「富士市産業支援センター「f-Biz」について」

【視察目的】

本市で平成 32 年度の開設を目標に導入を進めている、富士市産業支援センター「f-Biz」をモデルにした産業支援のあり方について、創設者でありセンター長の「小出宗昭」氏と f-Biz の現状や全国に拡大した Biz モデルなどに係る情報収集並びに意見交換を行い、本市の更なる産業支援に活用するために行政視察を行う。

【報告内容】

研修初日は、富士市にある「富士市産業支援センター」（通称 f-Biz）を視察し、センター長の小出宗昭氏から話を伺った。

富士市は日本で唯一、富士山と海があるまちであり、富士山の豊富な湧水を契機に発達した製紙業をはじめ、自動車関連工業などの工業が盛んなところであり、静岡県内 5 位の年間製造品出荷額（約 1 兆 3,676 億円）である。人口 254,203 人（男 125,777 人、女 128,426 人）で静岡県では浜松市、静岡市に次ぐ人口規模である。

「f-Biz」はさまざまな分野の専門家をスタッフとして採用し、相談業務を中心とした支援を実施している。コンサルティングで直接的に中小企業の売り上げを上げることに特化した相談所として成果を上げている。そして独自の暖簾分けという手法で全国に「〇〇 Biz」、いわゆる「ご当地 Biz」が拡大している。f-Biz に寄せられる相談件数は月間 370 件にも上り、オープンから 10 年で来場相談者数は延べ 3 万件超になっている。利用対象者は主として経営上の課題や新事業や創業を計画する企業・団体・個人であるが、農家や福祉事業者などの商工業以外の全産業業態の経営者や富士市のみならず近隣市町の事業者までも対象にしている。また、創業を検討している相談者には「f-Biz egg」という創業支援に特化した施設があり、その施設の開業後には 5 年間の平均開業件数が約 6 倍に増加した。

Biz モデルと従来型の企業支援の違いは、相談した企業が明確な成果を出せるように「販路の拡大」「新商品の開発」「新分野への進出」などの具体的な知恵やアイデアを出すという点にあり、従来、金融機関や支援センターが行っていた財務分析などの手法で企業の診断や問題点を指摘した無理・無駄の削減は行わず、企業の「光る部分」「強み」を見つけ出し、売上を伸ばしていくコンサルティングを実施している。

Biz モデルのセンター長は 1 年更新の単年契約、年収 1,200 万円で各市町が全国公募に

視察研修・研修会・要請・陳情活動等報告書（湯和会）

より選ぶことになっているが、1年の契約期間ごとに相談件数や相談者の売上高の伸び、販路拡大件数などが評価にさらされ、センター長自身も結果を問われるものになっている。

今後、本市でのBizモデル実施に当たっては、センター長の全国公募における人選や成果基準、Bizモデル拠点施設の設置場所、開所時期、商工会議所・商工会などの関係諸団体や金融機関との連携をどのようにしていくのかなどの課題はあるが、市内事業者にとっては無料で相談を受けることができ、事業者等に寄り添い課題解決に取り組み、売上の向上などが見込めることができることから、早期の開所も視野に入れ、可及的速やかに事業実施に向けて推進すべきであると感じたところである。

【調査研究事項】

- ・年 月 日：平成31年1月31日（木）
- ・研 修 先：静岡県熱海市
- ・研修内容：「営業する市役所について（「A-biz」熱海市チャレンジ応援センター）」

【視察目的】

熱海市では市内産業の活性化及び観光振興をより推進するため、「営業する市役所」としてさまざまな活動を行っており、富士市のf-Bizをモデルとした「A-biz」を実践している。人口規模の近い熱海市での取組を視察し、本市の産業支援に活用するため現地視察を行う。

【報告内容】

研修2日目は、富士市の「f-Biz」をモデルとした「A-biz」を実践している人口規模の近い熱海市（人口37,208人；平成30年7月末）を視察した。

熱海市では、最初に資料により「市の概要」説明があり、全国で有名な温泉観光地として産業別就業人口が第3次産業の構成比が85.2%になっており、市民のほとんどが何らかの形で観光に携わっている。

人口動態の状況は、「自然動態は減少傾向」であるが「社会動態は増加傾向」である。特徴として20歳から40歳までの社会動態は減少であるが、50歳から70歳以上の社会動態は増加傾向である。それに伴う高齢化率が46.3%であり、県平均28.7%と比べると県内23市中の順位が1位であり、人口2人の内1人は65歳以上という超高齢化が進んでいる状況であった。要因は、首都圏で働いていた人たちが退職を機に、温暖で住みよい観光地である熱海市に永住する人が増えているためとのことであった。

視察研修・研修会・要請・陳情活動等報告書（湯和会）

観光面では、昭和 44 年の 532 万人がピークであり、平成 23 年まで一貫して減少し、東日本大震災で過去最低の 236 万人を記録した。以降は、増加傾向に転じ平成 27 年に 307 万人と 13 年ぶりに 300 万人を突破（内外国人 2 %、主に中国人）した。

市の財政状況は自主財源のうち市税が 51.8%であり、依存財源よりも自主財源が 65%となっており全国で唯一の「別荘等所有税」があるのも特徴であった。

引き続き、「A-biz ここから始まる熱海の挑戦」として、長谷川観光経済課産業振興室長から導入に至った経緯の説明がされた。

熱海市は「営業する市役所」へ転換を図り、①発注行政からの脱却、②「顧客」の再構築を掲げ、従来の「市民」がお客さまから市外の企業や都市部の消費者も顧客としている。但し、その利益は市民にも還元されるものであるとして、民間投資を呼び込み民間投資の促進を行った。企業（銀行）等とのパートナーシップ協定もその 1 つである。

そもそも「A-biz」の始まりは平成 24 年 4 月からスタートして、それまでは行政等が直接、産業支援を行っていたものであるが、熱海市・熱海商工会議所ともにこれらの支援のノウハウ蓄積が十分でなく人材も不足していたことから、全国的なモデルになっていた富士市産業支援センター（f-Biz）と連携し、運営指導等を受けながら設立したものである。その目的は単純であり、「売上増加に向けて事業者の皆さんと一緒に考え、コストをかけずに知恵を出す。そして結果に出す。」ことにこだわった、新たな個店支援事業である。

平成 29 年 11 月からは、「日本でナンバー 1 の温泉観光地」づくりをさらに加速させるため、地域の魅力でもある事業者への支援事業を強化するためにチーフアドバイザーを募り、山崎チーフアドバイザーが着任してから本格的な産業支援がここに誕生したものである。チーフアドバイザー山崎氏からは、経歴も含め着任後、1 年半の実績内容・センターの概要・事例等の説明がされた。

説明後、各議員からの質疑応答を行い、その中で特筆すべき点は以下のとおりである。

- センター長が 1 人とスタッフ（市役所職員） 2 人のサポートで実施している
但し、外部アドバイザー（Web 作成・旅館業スペシャリスト） 2 人を招聘している
- A-biz は販路拡大を目的とし、首都圏を目指している
- 広域相談をしており、マッチングと販路拡大につなげている
- 商工会議所と役割分担している
- 市の予算総額、2 千 500 万円位である

視察研修・研修会・要請・陳情活動等報告書（湯和会）

【まとめ】

本市においても、1日目の研修先 f-Biz をモデルとした事業を始めるわけであるが、同じように導入した熱海市を視察したことにより、本市が推進する産業支援の内容をさらに検証することができ、行政と共通認識を持つことができたものと感じている。センター長の人選も当然にして必要であるが、センター長を中心に周りをサポートする体制も重要であると感じた。

今後、本市でも導入したことが湯沢市民にとってよりよいものになるよう、事業推進に向けたしっかりした体制づくり、予算措置の見極め、「こまち商工会」と「湯沢商工会議所」との役割の明確化における連携構築など、議会側としても経過について、行政側とは別の観点から監視しつつ導入に向けて、推進する必要があると感じたところである。

【要請・陳情活動】

- ・年 月 日：平成31年2月1日（金）
- ・要 望 先：菅官房長官、御法川衆院議員、金田衆院議員、富樫衆院議員、
石井参院議員、中泉参院議員、進藤参院議員
（衆議院・参議院議員会館にて）
- ・要望内容：「東北中央自動車道 新庄・湯沢地域間の整備促進について」
- ・要 望 書：別紙のとおり

国会開催中のため「菅官房長官」及び「秋田県出身国会議員」の衆議院・参議院議員会館内の各事務所を訪問し、要望書を渡して要望活動を行った。

なお、「御法川衆議院議員」と「富樫衆議院議員」には直接要望書を届けることができた。

以上、報告いたします。

様式第2号（第3条関係）
（会派用）

平成30年度政務活動費交付申請書

平成31年3月28日

湯沢市長 様
（湯沢市議会議長経由）

会派の名称 湯沢市議会 湯和会
代表者氏名 代表 柏原久寿



湯沢市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則第3条第1項の規定により、次のとおり申請します。

交付申請額 40,040円

<内 訳>

（単位：円）

科 目	支 出 額	備 考
調 査 研 究 費	63,190	（うち政務活動費充当額 40,040円）
研 修 費		
広 報 費		
広 聴 費		
要請・陳情活動費		
会 議 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
人 件 費		
事 務 所 費		
事 務 費		
支 出 合 計	63,190	

参考：申請上限額


交付月額	議員数	交付対象月数	上限額
5,000円	9人	12月	540,000円

既交付額 499,960円



様式第3号（第3条関係）
（会派用）

政務活動費実績報告書

会派の名称 湯沢市議会 湯和会
代表者氏名 代表 柏原久寿 

整理 番号	年月日	内 容	経費項目	支出額	備考
2	平成 31年 3月 18日	◆平成31年3月27日（水） 午後1時～午後2時30分 研修先：山形県山形市 「山形市売上増進支援センター 「Y-biz」について」	調査研究費	63,190円	
	～ 27日	◆参加者：8人 柏原久寿、渡部正明、高橋達、 佐藤功平、兼子正寛、高橋健、 高橋大輔、高橋榮			

- ・年月日は、支出の事実のあった年月日を記載する。
- ・内容欄には、政務活動が特定できるよう、年月日、場所、活動内容などが明確になるよう記載する。

平成30年度

政 務 活 動 報 告 書

平成31年3月28日

湯沢市議会議長 佐藤 功平 様

湯沢市議会 湯和会
代表 柏原 久寿



高橋肇議員との合同視察研修について、次のとおり報告します。

研修先	山形県山形市				平成31年3月27日
政 務 活 動 内 容	月日	都市名	研修・要望等 項目	宿泊地	研修・要望先
	3月27日	山形県 山形市	【調査研究事項】 山形市売上増進支援センター「Y-biz」につ いて		山形市役所
成果及び活用すべき事項	別紙「視察研修・研修会・要請・陳情活動等報告書」のとおり				



視察研修・研修会・要請・陳情活動等報告書（湯和会）

【調査研究事項】

- ・年 月 日：平成 31 年 3 月 27 日（水）
- ・研 修 先：山形県山形市
- ・研修内容：山形市売上増進支援センター「Y-biz」について

【視察目的】

山形市では、東北で初めとなる産業支援体制「Y-b i z」を平成 31 年 1 月 4 日に相談業務を開始し、月に 100 件を越える相談件数となっており、現在では予約待ちの状態が続いて大変好評を得ている。本市でも平成 32 年 4 月から「f-B i z」モデルを導入した「新たな産業支援事業」を進めていることから、近隣の山形市「Y-b i z」の取組について本市の産業支援に活用するため現地視察を行う。

【報告内容】

視察研修では、山形市売上増進支援センター「Y-b i z」を視察し、センター長の富松希氏と山形市商工観光部雇用創出課長の長谷川悌一氏からご説明いただいた。

山形市は人口 253,832 人（男 121,575 人、女 132,257 人）、めざす将来都市像を『みんなで創る「山形らしさ」が輝くまち』としており、その実現を「市民・事業者・行政」の共創による取組として進めている。

◎「Y-b i z」事業概要

- （1）相談事業：企業の「強み」を見付けるための具体的な課題解決策を提案するビジネスコンサルティングを行い、継続的なフォローにより売上増進や販路拡大に繋げる支援を行う
- （2）対象者：原則として山形市内の中小企業等（個人事業主・NPOを含む、産業分野を問わない）
- （3）利用料金：無料（1回 60 分程度、何度でも利用が可能）
- （4）その他：関係機関との連携や売上増進に関するセミナー等の事業も行う

設置は、山形市・山形商工会議所・山形県中小企業団体中央会・山形市協定締結金融機関（山形銀行・荘内銀行・きらやか銀行）が設立した「山形市ビジネスサポート協議会」（会長が副市長）に対して、「Y-b i z」の管理運営を委託している。

「Y-b i z」が相談業務を開始してから受付けた事業者が 259 事業所、受付件数が 554 件（3 月 26 日時点）となっており、予約待ちの状態が続いている。問い合わせが多い業種

視察研修・研修会・要請・陳情活動等報告書（湯和会）

は、卸・小売業が2割程度であり、サービス業・飲食宿泊業・製造業・情報通信業・医療・農林水産業となっている。特に多い相談内容として販路拡大が5割程度あり、その他にも事業全般・情報発信・新商品の開発等である。開設後3か月の成果としてまだ数値として表れていないが、やる気になって帰る事業者が多い状況である。運営上の課題としては、予約制としているが相談時間が延長することがあり、最後の予約者の開始時間が遅れる場合もあることから、相談時間への配慮に一番気を付けていると説明された。「Y-b i z」の人員はセンター長が1人、プロジェクトマネージャーが1人、ディレクター（事務長）が1人の体制で運営している。センター長を選考する審査において、最終的に候補者が2人だったため、それぞれをセンター長とプロジェクトマネージャーとして採用した。相談業務が多様なためプロジェクトマネージャーは必要不可欠であり、ディレクター（事務長）の役割も相談業務における事業者の事前調査や相談予約の日程調整等、非常に重要な役割であると説明された。

【まとめ】

本市においても「新たな産業支援事業」が開始されるが、静岡県富士市の「f-B i z」モデルと同様に、行政・商工団体・関係金融機関等の関係者が情報交換を行い、しっかりと連携していかなければ市民や事業者のためにならないのではないかと感じた。今後、センター長や事務長を含めた体制づくりや、他団体との連携における役割を明確化し、導入に向けて早急に進めていく必要があると感じたところである。

以上、報告いたします。

様式第7号（第8条関係）

（会派用）

平成30年度政務活動費収支報告書

平成31年4月26日

湯沢市議会議長 様

会派の名称 湯沢市議会 湯和会

代表者氏名 代表 柏原久寿



平成30年度政務活動費に係る収支について、湯沢市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則第8条第1項の規定により、次のとおり報告します。

収入の部

（単位：円）

科 目	決 算 額	備 考
交 付 金	540,000	1回目、499,960円 2回目 40,040円
そ の 他 の 収 入		
収 入 合 計	540,000	

支出の部

（単位：円）

科 目	決 算 額	備 考
調 査 研 究 費	563,150	1回目 平成31年1月30日～2月1日 実施（要請・陳情活動費含む） 2回目 平成31年3月27日 実施
研 修 費		
広 報 費		
広 聴 費		
要請・陳情活動費		
会 議 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
人 件 費		
事 務 所 費		
事 務 費		
支 出 合 計	563,150	（不足額は、会派議員が負担している）



平成30年度会計帳簿

会派名 湯沢市議会 湯和会

収入

番号	月日	摘 要	交付額
1	H31. 4. 4	平成30年度政務活動費交付金（入金）	499,960
2	H31. 4. 25	平成30年度政務活動費交付金（入金）	40,040
合 計			540,000

支出

番号	月日	科目	摘 要	支出額
1	H31. 1. 24	調査研究費	J R 乗車券代、宿泊代	480,240
1	H31. 1. 29	調査研究費	手土産代	8,600
1	H31. 1. 31	調査研究費	タクシー代	2,500
1	H31. 1. 31	調査研究費	タクシー代	2,500
1	H31. 1. 31	調査研究費	J R 乗車券代	1,530
1	H31. 2. 1	調査研究費	J R 乗車券代	3,060
1	H31. 2. 1	調査研究費	地下鉄乗車券代	1,530
2	H31. 3. 18	調査研究費	J R 乗車券代	36,320
2	H31. 3. 26	調査研究費	手土産代	3,190
2	H31. 3. 27	調査研究費	新幹線特急券代	9,440
2	H31. 3. 27	調査研究費	タクシー代	870
2	H31. 3. 27	調査研究費	タクシー代	870
2	H31. 3. 27	調査研究費	タクシー代	3,060
2	H31. 3. 27	調査研究費	新幹線特急券代	9,440
合 計				563,150

※不足額は、会派議員が負担している

領収書

No. 028558

湯沢市議会 会派「湯和会」様

平成31年1月30日

金額	¥	4	8	0	2	4	0
----	---	---	---	---	---	---	---

但し 1月30日分 旅行代金 □JR券代 □航空券代として

上記金額正に領収いたしました。

内 訳

税抜金額

消費税額（%）



秋田

コスモトラベル

（南秋田コスモトラベル TEL 0182(23)8070・FAX 0182(42)6050
〒019-0606 秋田県横手市十文字町仁井田字東22-1
（スーパーエールラッキー内）

当社ではこの様式以外の領収証は発行していません。

取扱者印

G No. 141349

領収書

湯和会様

2019年1月29日

金額	¥	8	6	0	0
----	---	---	---	---	---

但し 加工賃代として

上記の金額正に領収致しました

金額文字の訂正および社印なきものは無効です



株式会社

本社工場 湯沢市字黄金原1番地 ☎73-5185

山王店 ☎018-863-3682 東店 ☎018-889-3615 外旭川店 ☎018-869-7227 トビコ店 ☎018-834-7341
東店 ☎018-838-5066 角館店 ☎0187-53-3255 大曲店 ☎0187-63-3166 イーサモール店 ☎0187-62-8351
トラス店 ☎0182-22-2205 横手店 ☎0182-32-2828 十文字店 ☎0182-42-0331 湯沢店 ☎0183-73-0141
十文字町店 ☎0183-72-5624 湯沢店 ☎0183-56-6112

内 訳	商品価額	消費税額	円

印 紙

係 員


支 払 証 明 書

金額 2,500 円

上記の金額を支払ったことを証明します。

平成31年1月31日

会派の名称 湯沢市議会 湯和会

代表者氏名 代表 柏原久寿 

内 訳	調査研究費、要請・陳情活動費 交通費 タクシー代 780円×1台、860×2台
事 由	静岡県熱海市の視察に係る、宿泊先から熱海市役所への移動についてタクシーを利用した。
債権者住所氏名	静岡県熱海市小嵐町1番4号 有限会社 小形タクシー 取締役 渥美好久

領 収 書

2019年01月31日-004

メーター運賃 ¥780 円

合計 ¥780 円

現金支払 ¥780 円

車両番号 0225

毎度ご乗車ありがとうございます。

(有)小形タクシー

静岡県熱海市小嵐町1-4

配車室 0557-82-5444

事務所 0557-82-6578

領 収 書

2019年01月31日-001

メーター運賃 ¥860 円

合計 ¥860 円

現金支払 ¥860 円

車両番号 0232

毎度ご乗車ありがとうございます。

(有)小形タクシー

静岡県熱海市小嵐町1-4

配車室 0557-82-5444

事務所 0557-82-6578

領 収 書

2019年01月31日-019

メーター運賃 ¥860 円

合計 ¥860 円

現金支払 ¥860 円

車両番号 0223

毎度ご乗車ありがとうございます。

(有)小形タクシー

静岡県熱海市小嵐町1-4

配車室 0557-82-5444

事務所 0557-82-6578

支 払 証 明 書

金額 2,500 円

上記の金額を支払ったことを証明します。

平成31年1月31日

会派の名称 湯沢市議会 湯和会

代表者氏名 代表 柏原久寿



内 訳	調査研究費、要請・陳情活動費 交通費 タクシー代 780円×1台、860×2台
事 由	静岡県熱海市の視察に係る、熱海市役所から熱海駅への移動についてタクシーを利用した。
債権者住所氏名	静岡県熱海市小嵐町1番4号 有限会社 小形タクシー 取締役 渥美好久

領 収 書

2019年01月31日-008

メーター運賃 ¥780円

合計 ¥780円

現金支払 ¥780円

車両番号 0204

毎度ご乗車ありがとうございます。

(有)小形タクシー

静岡県熱海市小嵐町1-4

配車室 0557-82-5444

事務所 0557-82-6578

領 収 書

2019年01月31日-017

メーター運賃 ¥860円

合計 ¥860円

現金支払 ¥860円

車両番号 0226

毎度ご乗車ありがとうございます。

(有)小形タクシー

静岡県熱海市小嵐町1-4

配車室 0557-82-5444

事務所 0557-82-6578

領 収 書

2019年01月31日-010

メーター運賃 ¥860円

合計 ¥860円

現金支払 ¥860円

車両番号 0229

毎度ご乗車ありがとうございます。

(有)小形タクシー

静岡県熱海市小嵐町1-4

配車室 0557-82-5444

事務所 0557-82-6578

支 払 証 明 書

金額 1, 530 円

上記の金額を支払ったことを証明します。

平成31年1月31日

会派の名称 湯沢市議会 湯和会

代表者氏名 代表 柏原久寿



内 訳	調査研究費、要請・陳情活動費 交通費 乗車券代 170円×9人分
事 由	視察・要望活動に係る、田町駅から鶯谷駅（宿泊先）への移動について電車を利用した。
債権者住所氏名	東京都渋谷区代々木二丁目2番2号 東日本旅客鉄道株式会社

領収証 様
ご利用日付 2019年01月31日
時刻 15時46分

取引内容：乗車券類
購入金額 金510円
お支払方法 内訳
現金 金510円

伝票番号:48119

●この領収証は大切に保存してください。
●毎度ありがとうございます。

田町駅 券113発行
JR東日本

領収証 様
ご利用日付 2019年01月31日
時刻 15時47分

取引内容：乗車券類
購入金額 金510円
お支払方法 内訳
現金 金510円

伝票番号:48120

●この領収証は大切に保存してください。
●毎度ありがとうございます。

田町駅 券113発行
JR東日本

領収証 様
ご利用日付 2019年01月31日
時刻 15時47分

取引内容：乗車券類
購入金額 金510円
お支払方法 内訳
現金 金510円

伝票番号:48121

●この領収証は大切に保存してください。
●毎度ありがとうございます。

田町駅 券113発行
JR東日本

支 払 証 明 書

金額 3,060 円

上記の金額を支払ったことを証明します。

平成31年2月1日

会派の名称 湯沢市議会 湯和会

代表者氏名 代表 柏原久寿



内 訳	調査研究費、要請・陳情活動費 交通費 乗車券代 340円×9人分
事 由	要望活動に係る、鶯谷駅（宿泊先）から東京メトロ国会 議事堂前駅への移動について電車を利用した。
債権者住所氏名	東京都渋谷区代々木二丁目2番2号 東日本旅客鉄道株式会社

領収証 様

ご利用日付 2019年-2月-1日
時刻 09時21分

取引内容：きっぷ購入
購入金額 金1020円

お支払方法 内訳
現金 金1020円

印紙税申告納
付につき渋谷
税務署承認済

伝票番号：00555

•この領収証は大切に保存してください。
•ご利用ありがとうございます。

鶯谷駅 券177発行
JR東日本

領収証 様

ご利用日付 2019年-2月-1日
時刻 09時22分

取引内容：きっぷ購入
購入金額 金1020円

お支払方法 内訳
現金 金1020円

印紙税申告納
付につき渋谷
税務署承認済

伝票番号：00556

•この領収証は大切に保存してください。
•ご利用ありがとうございます。

鶯谷駅 券177発行
JR東日本

領収証 様

ご利用日付 2019年-2月-1日
時刻 09時23分

取引内容：きっぷ購入
購入金額 金1020円

お支払方法 内訳
現金 金1020円

印紙税申告納
付につき渋谷
税務署承認済

伝票番号：00557

•この領収証は大切に保存してください。
•ご利用ありがとうございます。

鶯谷駅 券177発行
JR東日本

支払証明書



金額 1,530 円



上記の金額を支払ったことを証明します。



平成31年2月1日

会派の名称 湯沢市議会 湯和会
代表者氏名 代表 柏原久寿

内 訳	調査研究費、要請・陳情活動費 交通費 乗車券代 170円×9人分
事 由	要望活動に係る、赤坂見附駅から東京駅への移動について電車を利用した。
債権者住所氏名	東京都台東区東上野三丁目19番6号 東京地下鉄株式会社

		領収書
・ご利用ありがとうございます。 ・この領収書は大切に保存してください。		
お取引内容：きっぷ		¥510
上記金額を領収いたしました。		
ご利用日付2019年02月01日 時刻 13時36分		
印紙税申告納付につき東京上野税務署承認済		伝票番号：96404 東京地下鉄株式会社 赤坂見附駅 券O7発行

		領収書
・ご利用ありがとうございます。 ・この領収書は大切に保存してください。		
お取引内容：きっぷ		¥510
上記金額を領収いたしました。		
ご利用日付2019年02月01日 時刻 13時36分		
印紙税申告納付につき東京上野税務署承認済		伝票番号：96405 東京地下鉄株式会社 赤坂見附駅 券O7発行

		領収書
・ご利用ありがとうございます。 ・この領収書は大切に保存してください。		
お取引内容：きっぷ		¥510
上記金額を領収いたしました。		
ご利用日付2019年02月01日 時刻 13時38分		
印紙税申告納付につき東京上野税務署承認済		伝票番号：96407 東京地下鉄株式会社 赤坂見附駅 券O7発行

山王店 ☎018-863-3682 泉ガーデンマ-店 ☎018-838-5066 横手店 ☎0182-22-2305 千石町店 ☎0183-72-5624
東 店 ☎018-889-3615 角館店 ☎0187-53-3255 トナリ店 ☎0182-32-2828 湯沢店 ☎0183-56-6112
外旭川店 ☎018-869-7227 大曲店 ☎0187-63-3166 十文字店 ☎0182-42-0331
トピコ店 ☎018-834-7341 イースモール店 ☎0187-62-8351 湯沢店 ☎0183-73-0141

支 払 証 明 書

金額 9,440 円

上記の金額を支払ったことを証明します。

平成31年3月27日

会派の名称 湯沢市議会 湯和会

代表者氏名 代表 柏原久寿



内 訳	調査研究費 交通費 新幹線特急券 1,180円×8人分
事 由	山形県山形市の視察に係る、新庄駅から山形駅への移動について新幹線を利用した。
債権者住所氏名	東京都渋谷区代々木二丁目2番2号 東日本旅客鉄道株式会社

領 収 書

Receipt 領収年月日 2019.-3.27 様

金額 ￥4,720

上記金額確かに領収いたしました

購入商品 JR乗車券類 JR tickets

(20184,4枚)
東日本旅客鉄道株式会社

新庄駅
新庄駅VF1発行 30185-01

印紙税申告納
付につき渋谷
税務署承認済

領 収 書

Receipt 領収年月日 2019.-3.27 様

金額 ￥4,720

上記金額確かに領収いたしました

購入商品 JR乗車券類 JR tickets

(60181,4枚)
東日本旅客鉄道株式会社

新庄駅
新庄駅VF1発行 00182-01

印紙税申告納
付につき渋谷
税務署承認済

支 払 証 明 書

金額 870 円

上記の金額を支払ったことを証明します。

平成31年3月27日

会派の名称 湯沢市議会 湯和会

代表者氏名 代表 柏原久寿



内 訳	調査研究費 交通費 タクシー代 870円×1台
事 由	山形県山形市の視察に係る、山形駅から山形市役所への移動についてタクシーを利用した。
債権者住所氏名	山形県山形市西田五丁目22番4号 井澤タクシー 井澤裕

領収書

毎度ご乗車ありがとうございます。

車両番号 957号

2019年03月27日

乗車料金

¥870円

(現金・チケット・クーポン)

上記の通り正に領収致しました。

(個人)井澤タクシー

山形市西田5丁目22番4号

☎090-3645-1931

支 払 証 明 書

金額 870 円

上記の金額を支払ったことを証明します。

平成31年3月27日

会派の名称 湯沢市議会 湯和会

代表者氏名 代表 柏原久寿



内 訳	調査研究費 交通費 タクシー代 870円×1台
事 由	山形県山形市の視察に係る、山形駅から山形市役所への移動についてタクシーを利用した。
債権者住所氏名	山形市大字岩波782 瀧山タクシー 市川和弘

領 収 書

No.0010

日付 2019年03月27日

車番 000258

0000

基本運賃

¥870円

合計

¥870円

上記の様に領収致しました

毎度ご乗車ありがとうございます

(個人) 瀧山タクシー

山形個人タクシー協同組合

TEL 023-622-4567

携帯 090-1063-0146

支 払 証 明 書

金額 3,060 円

上記の金額を支払ったことを証明します。

平成31年3月27日

会派の名称 湯沢市議会 湯和会

代表者氏名 代表 柏原久寿



内 訳	調査研究費 交通費 タクシー代 960円×1台、1,050円×2台
事 由	山形県山形市の視察に係る、山形市役所から山形駅への移動についてタクシーを利用した。
債権者住所氏名	山形県山形市桜町二丁目6番1号 山交ハイヤー株式会社 代表取締役社長 秋場正彦

領 収 書

No.4722

日付 '19年03月27日

車番 000131 000

基本運賃 ¥960円

合計 ¥960円

上記の通り領収致しました
ユトリアグループ

山交ハイヤー株式会社

山形市桜町2-6-1

023-681-1515

蔵王営業所023-694-9611

介護事業所023-684-1513

領 収 書

No.7186

日付 '19年03月27日

車番 000137 000

基本運賃 ¥1050円

合計 ¥1050円

上記の通り領収致しました
ユトリアグループ

山交ハイヤー株式会社

山形市桜町2-6-1

023-681-1515

蔵王営業所023-694-9611

介護事業所023-684-1513

領 収 書

No.2762

日付 '19年03月27日

車番 000222 000

基本運賃 ¥1050円

合計 ¥1050円

上記の通り領収致しました
ユトリアグループ

山交ハイヤー株式会社

山形市桜町2-6-1

023-681-1515

蔵王営業所023-694-9611

介護事業所023-684-1513

支 払 証 明 書

金額 9, 4 4 0 円

上記の金額を支払ったことを証明します。

平成31年3月27日

会派の名称 湯沢市議会 湯和会

代表者氏名 代表 柏原久寿



内 訳	調査研究費 交通費 新幹線特急券 1, 1 8 0 円×8人分
事 由	山形県山形市の視察に係る、山形駅から新庄駅への移動について新幹線を利用した。
債権者住所氏名	東京都渋谷区代々木二丁目2番2号 東日本旅客鉄道株式会社

領 収 書

Receipt 様

領収年月日 2019.-3.27

金額 ￥4,720

上記金額確かに領収いたしました

購入商品 JR乗車券類, JR tickets

(20485 4枚)

東日本旅客鉄道株式会社

山形駅

山形県VF1発行 30486-01

印紙税申告納
付につき渋谷
税務署承認済

領 収 書

Receipt 様

領収年月日 2019.-3.27

金額 ￥4,720

上記金額確かに領収いたしました

購入商品 JR乗車券類, JR tickets

(50488 4枚)

東日本旅客鉄道株式会社

山形駅

山形県VF1発行 60489-01

印紙税申告納
付につき渋谷
税務署承認済